

令和８年度 第１回岩見沢市総合戦略等推進委員会 議事録（要旨）

● 日時、出席者等

日時	令和８年７月２４日（金）１５時００分～１６時００分
会場	岩見沢市役所４階 委員会室１
出席委員等	委員１１名、特別委員１名
傍聴者	０名
事務局等	事務局５名、事業担当者２名

● 議事録（要旨）

会 議 次 第	協 議 内 容
１ 開会 ２ 委嘱状交付 ３ 協議事項 （１）第３期岩見沢市総合戦略の取組みについて	【事務局説明】 総合戦略の概要と人口動態について （委員） 社会動態に外国人は含まれるか。 （岩見沢市） 含まれる。外国人住民は令和元年 210 名、令和 5 年 316 名、令和 6 年 360 名、令和 7 年 484 名と年々増加している。国別だと従来はベトナムが多かったが、令和 7 年度はミャンマーが 1 位となった。 （委員） 外国人がどこで働いているか分析してほしい。 【事業担当者説明】 令和 7 年度取組実績について（芸術文化スポーツ交流創出事業、健康経営都市推進事業） （委員） 旧美流渡中交流館が整備され、ハード面は充実したが、人的な部分が課題。故 MAYA 氏に代わる魅力あるアーティストが不在であり、市が招聘するなど、人の面での継続策をどう考えるか。

	(岩見沢市) みる・と一ぶは代表の來嶋氏を中心に 15 名程度で活動中。施設面では作品等のディレクションについて、みる・と一ぶに委託している。現状、市が著名アーティストを招聘することは考えていない。用途変更後、1 年目であり手探りの状況だが、リピーターに加え、新規来訪者を大切にしながら維持管理に努めたい。 (委員) 来場者の来場目的やリピーターの利用用途はどのようなものがあるか。 (岩見沢市) 施設は 4 月 15 日オープン。開館は 10 月末までの期間限定としており、土日 10～17 時のみと定めている。市ホームページ・SNS 等で情報発信している。月に 1 回、約 10 種類のワークショップを開催しているので、申込者は毎月参加来訪することになる。また、常設のインフォメーションや地域資料の展示、企画展を見に来ることが想定される。時期によっては全館イベントも実施される。また、教室を一定期間借りて創作活動を行う利用形態もある。施設実績としては、6 月末時点で開館日は 28 日間、来場者計 1,819 人となっている。 (委員) 神戸から訪れた来場者と交流した。SNS で施設を知ったとのことで、感性の高い層に響いている。来てもらう価値のある場所だとしっかり PR していくことが重要。メープルロッジや毛陽交流センターなど、既存の環境と連動して、地域全体の魅力発信していくべき。 (岩見沢市) 故 MAYA 氏のファンは道外からも来訪している。8 月 1 日から市内でジャズ資料収集家と連携し、ジャズの歴史に関する企画展を開始予定。 (委員) 商工会議所も健康経営に取り組む法人の認定を進めている。産学官連携の観点から、民間の取り組みも資料に併記し、市として応援してほしい。 (岩見沢市) 先月、商工会議所主催セミナーに出席した。運動環境整備や短時間仮
--	--

(2) その他	眠の取り組みが人材確保にもつながっており、そうした情報を発信していきたい。 (委員) 母子健康調査はいつから開始し、どのように進捗しているのか。 (岩見沢市) 母子健康調査の所管は子ども未来課へ移管。調査としては懐妊から 5 歳まで追跡調査を行うもの。妊娠初期・中期、出産後は入院中、産後 1 か月・5 か月・8 か月、1 歳半・3 歳・5 歳に便を採取し、調査する。平成 29 年から調査を開始している。 (委員) 森永乳業との連携協定の内容は。 (岩見沢市) 出産前から高齢者の食と健康づくり、災害時の栄養食品提供等について連携している。 【事務局説明】 いわみざわ若者会議について (委員) 過去と比較し、無くなったものに目がいきがちだが、若い世代の声を聞くと、岩見沢の将来に前向きな意見が多かった。 (委員) 若い世代や女性の参加者も多く、有意義だった。今後は若者に加え、子育て世代や介護開始世代の意見を聞く場もあるとよい。 (岩見沢市) 次期総合計画策定に向け、子育て世代を含む幅広い世代を対象とした市民ワークショップを予定している。若者会議は今後も継続予定。委員の参加も歓迎する。 (特別委員) 人口減により、経済活動や労働力確保だけでなく、自治体職員の確保も困難となる。10 年後、20 年後を見据えると自治体維持が課題である。岩見沢は定住自立圏など、広域連携によって省力化に取り組んでい
----------------	---

4 その他 5 閉会	るが、人手不足は全国的に続く見込み。持続可能な行政サービスの維持のために業務プロセスや財源の見直しが求められている。AI、DX、スマート農業など新技術の活用や民間企業・大学との連携も検討していく必要がある。 (委員) 森永乳業との連携があるので、商品展示や市民向け特典など、見える形での連携やPRを検討してはどうか。情熱フェスティバル等のブース出展検討してほしい。 (岩見沢市) 健康まつりで森永乳業の協力を得ている。公益的なイベントでの物販には配慮が必要。今後、検討していきたい。 (委員) 市議会と商工会議所青年部の意見交換会において、交通が課題に挙げった。自動運転バスの現状はどうか。 (岩見沢市) 令和4年度に北村地区、令和5年度に駅前通りと北村地区で実証運行を実施し、好評だった。ただし積雪の課題があり、現時点では実用化は困難。全国的な事例は積雪の少ない地域が中心である。自動運転そのものより既存交通の維持に注力し、役割分担しながら取り組む方針である。
--------------------------	--